

すこやかに生きるために

— 検診受けて健康長寿 —

第Ⅰ部 講演

『三豊・観音寺市における内視鏡胃癌検診・ ピロリ検診の初年度実態報告』

講師 三豊・観音寺市医師会 理事

池田 宣 聖

第Ⅱ部 講演

写真・録画・録音等禁止

『人生100年時代を生きる』

講師 医師・作家

鎌田 實

と き 令和元年9月7日(土)

開場 午後1時30分

開会 午後2時 閉会 午後3時55分

と ころ ハイスタッフホール 大ホール
(観音寺市民会館)

(入場無料)

TEL. 0875(23)3939

主 催 / 一般社団法人 三豊・観音寺市医師会

後 援 / 香川県医師会・観音寺市・三豊市

ごあいさつ

健康教育講演会は、平成元年に始まり、新たな時代、令和となった今年、第31回目を迎えることが出来ました。毎年多くの市民の皆様にご参加頂けたこと、そして、観音寺市、三豊市、その他関係諸機関のご後援があってこそ、このように長期間続けることが出来たものと心より感謝しております。

今年の講演会は、「すこやかに生きるために」をメインテーマとし、「検診受けて健康長寿」をサブテーマに開催したいと思っております。長い人生をすこやかに生き、健康長寿を得るためには、皆様ご自身の努力も大切です。日頃の運動や食事に対する気配りも必要ですが、自覚症状が出る前に検診で早期に病気を発見し、治していくことは、健康寿命を長くする大きな助けとなります。今回の講演会が、住民の方々の検診受診率の向上の一助となれば幸いです。

第I部では、三豊・観音寺市医師会理事の池田宣聖先生から、胃がん検診についてのご講演を頂きます。胃がんはピロリ菌感染が大きな原因ということが分かっており、早期にピロリ菌を除菌することで予防できるがんであることが証明されています。胃カメラの重要性など分かりやすくご講演頂く予定です。

第II部では、作家で諏訪病院名誉院長の鎌田 實先生から、「がんばらない」けど、「あきらめない」人生の生き方についてご講演頂く予定です。鎌田先生は、長年、長野県で地域包括ケアを実践され、脳卒中死亡率の高かった長野県を長寿日本一の県とした立役者の先生です。現在は長野県、日本のみならず世界を舞台に活躍されておられます。多方面で精力的に活躍されておられる先生のお話が、これからの人生のヒントとなればと思います。

皆様お誘い合わせの上、ご来場頂けますよう、心よりお待ちしております。

一般社団法人 三豊・観音寺市医師会

プログラム

開会挨拶 (午後2時) 國土修平 (三豊・観音寺市医師会 会長)

来賓挨拶

第I部 講演 (午後2時10分～午後2時30分)

進行 山田大介 (三豊・観音寺市医師会 理事)

「三豊・観音寺市における内視鏡胃癌検診・ピロリ検診の初年度実態報告」

講師 池田宣聖 (三豊・観音寺市医師会 理事)

司会 平林浩一 (三豊・観音寺市医師会 副会長)

休憩 (午後2時30分～午後2時45分)

第II部 講演 (午後2時45分～午後3時45分)

進行 高島誓子 (三豊・観音寺市医師会 理事)

「人生100年時代を生きる」

講師 鎌田 實 (医師・作家)

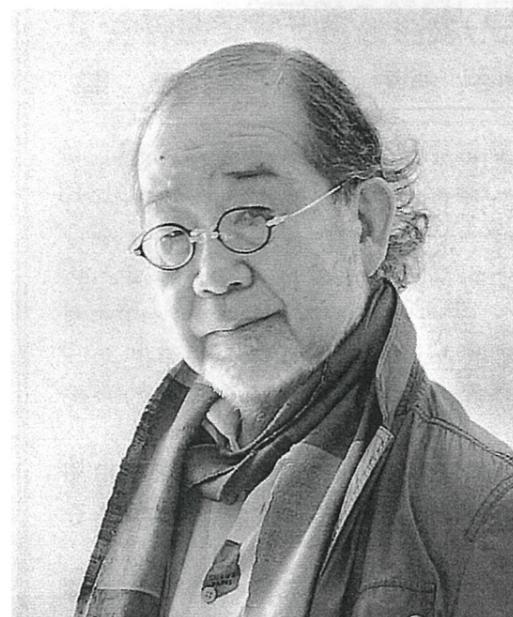
司会 安東正晴 (三豊・観音寺市医師会 副会長)

閉会謝辞 (午後3時45分) 山地博文 (三豊・観音寺市医師会 副会長)

閉会 (午後3時55分)

要約筆記 NPO法人香川県要約筆記サークルゆうあい

講師 医師・作家 鎌田 實 紹介



Minoru Kamata 1948年6月28日生

東京医科歯科大学医学部卒業後、長野県・諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり、潰れかけていた病院を再生させた。「地域包括ケア」を実践し、脳卒中死亡率の高かった長野県はいまや長寿日本一、医療費も安い地域となった。

一方1991年より25年間、ベラルーシ共和国の放射能汚染地帯へ100回を超える医師団を派遣し、約14億円の医薬品を支援してきた(JCF)。

2004年にはイラク支援を開始。イラクの4つの小児病院へ10年間で4億円の薬を送り、過激派組織「イスラム国」が暴れ、空爆が行われているイラク北部の都市アルビルを拠点に、難民キャンプでの診察を続けている(JIM-NET)。

東北の被災者支援にもいち早く取り組み、「がんばらない」「1%はだれかのために」と言いながら、多方面で常に100%以上の精力的な活動を行っている。

職業	医師・作家 現在：諏訪中央病院名誉院長、日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)理事長、日本・イラク・メディカルネット(JIM-NET)代表、地域包括ケア研究所所長、東京医科歯科大学臨床教授、東海大学医学部客員教授
出身大学	1974年 東京医科歯科大学医学部卒業
受賞歴	2009年ベスト・ファーザーイエローリボン賞(学術・文化部門) 2011年日本放送協会放送文化賞 他...
主な著書	ベストセラー「がんばらない」をはじめ、「雪とパイナップル」「アハメドくんのいのちのリレー」「検査なんか嫌いだ」(集英社)、「ほうれんそうはなっています」(ポプラ新書)、「1%の力」「イスラム国よ」(河出書房新社)、「遊行を生きる」(清流出版)、「カマタノコトバ」(悟空出版)、「人間の値打ち」(集英社新書)、「『わがまま』のつながり方」(中央法規出版)、「忖度バカ」(小学館新書)、「だまされない」(KADOKAWA)など多数。
連載	週刊ポスト(小学館)隔週「ジタバタしない(食う・見る・浸るーいのちの洗濯)」毎日新聞 毎月第3日曜「さあ これからだ」月刊 清流(清流出版)「なんでもない毎日を、特別に生きる！」おはよう21(中央法規出版)鎌田實の「△な介護のすすめ」(対談)理念と経営(コスモ教育出版)「鎌田流らくらく健康塾」JB Press「鎌田實のヌーベルバーグ」(毎週水曜配信)東奥日報「一緒に目指そう長寿県」毎月連載 佐賀新聞「健康長寿県佐賀を目指して」毎月連載
WEBSITE	公式ホームページ http://www.kamataminoru.com 公式ブログ「八ヶ岳山麓日記」(毎日更新) http://kamata-minoru.cocolog-nifty.com/blog

講演抄録

『三豊・観音寺市における内視鏡胃癌検診・ピロリ検診の初年度実態報告』

三豊・観音寺市医師会 理事 池田 宣 聖

保険福祉行政事業として、胃癌検診と胃癌予防事業は市民に対して重要な位置付けであると思われます。三豊・観音寺市では特定年齢の胃癌内視鏡検診と中学生のピロリ検診が開始されました。胃癌検診は、従来、当地域では胃透視による検診がスタンダードでしたが、近年診断精度の問題を指摘する論文も多数認められ、日本で多くの地域が内視鏡胃癌検診を導入するようになりました。当地域でも2018年より特定年齢に限って内視鏡胃癌検診がスタートし、多くの開業医と三豊総合病院の先生によって画像の二重チェックを行い精度管理にも配慮した結果、両市合わせて221人の受診者数を数え1人の胃癌患者を救うことができました。

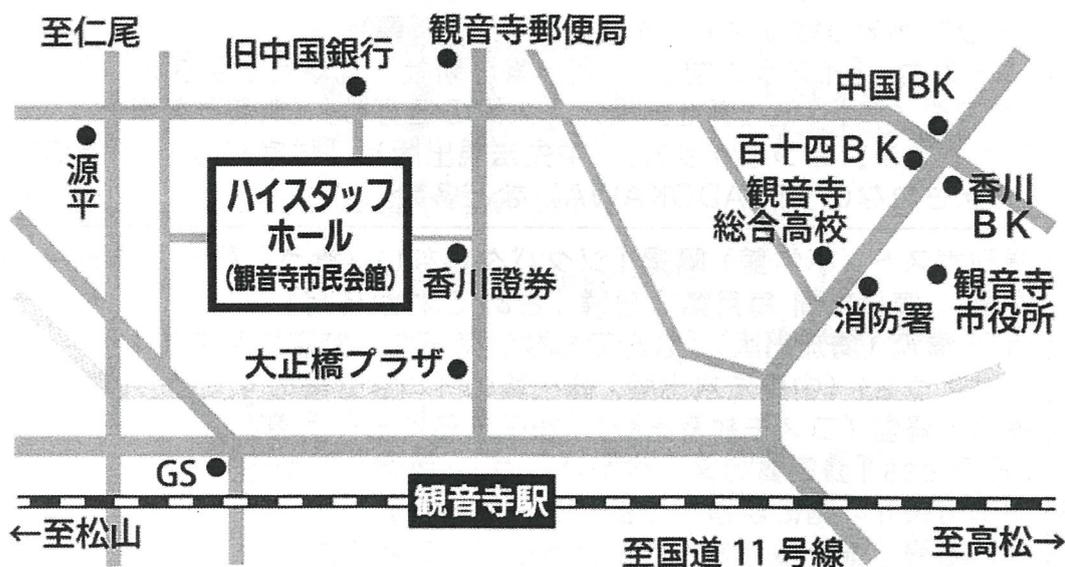
また中学3年生を対象としたピロリ検査では、香川県で初めての地域となり、四国においてもパイロット的地域になっています。平成30年度実績では両市合わせて1027人の受診者数となり受診率は89.2%と高い値を示しました。

しかしながら、一次陽性者数101人（全体の9.8%）のうち、2次検診の呼気試験受診率は63.4%と低い値を示しており、今後は市民の皆様へのピロリ検診事業についてより一層の啓蒙活動が必要であり、本講演もその一助になればと考えております。

今年度より実施するピロリ陽性者に対する除菌治療については当事業を丁寧に説明していく必要があります。当医師会は一次検診陽性者の2次検診への受診率向上を図るため、行政による市民の皆様への広報活動に今後とも協力してまいりますので宜しくお願い致します。

ハイスタッフホール(観音寺市民会館) 案内図

観音寺市観音寺町甲1186-2 Tel 23-3939



お問い合わせ 三豊・観音寺市医師会事務局 ☎(0875) 62-2211